

1. 第3次総合計画における施策の体系

目指す都市像 (政策)	番号	7	名称	快適な生活を育むまち			
施策	番号	7	名称	緑豊かな憩いの場の整備			
主担当部	まちづくり部		主担当課	都市整備課		部長名	中尾 至宏
関係部	総合政策部、市民文化部		関係課	千塚周辺整備課、文化・スポーツ課			

2. 施策の基本方針(第3次総合計画の基本方針をもとに記入する)

この施策の目的	都市における緑のオープンスペースとしての公園・緑地の整備を進める。また、広域避難地に対応した防災機能の強化や多様な市民ニーズに応えた特色ある公園緑地の整備を推進するとともに、既存公園については施設等のバリアフリー化や長寿命化の再整備を含め、地域住民が愛着をもって緑に触れ合う機会を持てる公園整備を図る。
---------	---

3. 施策の現状分析(第3次総合計画の現状と課題をもとに記入する)

この施策の概況	この施策に対する市民ニーズなど、具体的な事項について	社会環境や国・県の動向など、施策を取り巻く環境について
	市には、大和三山、参道の森、新沢千塚古墳群等、緑の自然環境が多くあるが、市民意識調査によると、都市公園の面積・数・広さ等に対する市民の満足度は低い。都市のオープンスペースとしての公園、緑地の整備を進めているが、その機能だけでなく、災害時の避難所や防災拠点等の機能を併せ持つことが求められている。	都市のオープンスペースとして、災害時の避難所や防災拠点等への対応、また、老朽化した公園施設の長寿命化や、バリアフリー対策等多様なニーズに応えられる施策が国により提案・実施されている。
これまでの成果	幅広い年齢層にも対応した安全で安心な公園整備を進めてきた。	

4. 指標及びコストの推移

	名称及び単位等	24年度	25年度		26年度	27年度	29年度 (総計目標年度)	備考欄
		実績	目標	実績	目標	目標	目標	
指標の推移	施策指標① (成果指標)	163	166	163	163	166	180	
	施策指標② (成果指標)	7.25	8.00	7.37	8.00	8.50	9.00	
	施策指標③ (成果指標)							
	施策指標④ (成果指標)							
	施策指標⑤ (成果指標)							
コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算		
	歳出 (直接事業費)(a)		537,291	693,651	886,341	1,057,917		
	歳入 (b)	受益者負担額	0	0	0	0		
		国や県からの補助金その他	216,674	460,856	326,041	743,924		
	(a) - (b) = 一般財源		320,617	232,795	560,300	313,993		
	正職員	従事者数 (単位:人)	14.45	13.55	13.55	15.10		
		人件費(c)	89,633	83,631	83,631	93,197		
トータルコスト (a) + (c)		626,924	777,282	969,972	1,151,114			

## 5. 施策の評価

有効性の評価	この施策の成果の達成度かどうか	3	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	成果向上の可能性かどうか	1	1 十分ある	2 ある程度ある	3 あまりない	4 ない
	説明	目標値に対して実績値はやや低いものの、最終的な目標値に向け数値は順調に推移している。最終目標値の達成のためには新沢千塚古墳群公園及び植山古墳公園の事業の進捗状況による部分が大きく、事業が順調に進んでいる現在、施策成果向上の可能性は非常に高い。				
	市政全般に対する貢献度かどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	説明	主要公園に対する整備は進んでおり、満足度の向上に貢献しているといえる。また、今後は利用率が高く、身近な公園を市民ニーズに対応して改築・更新を図るとともに、市民との協働による公園の維持管理についても一層進めていきたい。				

## 6. 施策の課題

この施策の課題	各公園の規模、特色にあわせ、多機能に利用できる公園整備を推進していく。また、公園の維持管理や緑化の推進等、住民のニーズに合致したソフト面の充実が必要である。特に身近な街区公園、近隣公園等については、自治会、NPO等との市民協働により整備を進めていき、公園に対する市民の満足度の向上を図っていく。
---------	---

## 7. 次年度以降の施策の方向性

総合評価 1次評価	次年度以降の方向性	2	1 強化する	2 維持する	3 縮小する
	説明	現在工事中の植山古墳公園、新沢千塚古墳群公園の整備をより一層進めていく。また、老朽化が進む公園の長寿命化をはかり、遊具の改築・更新を行う。さらに、市民との意見交換をはかり、公園の維持管理における市民協働の意識向上に努める。			
総合評価 2次評価	次年度以降の方向性		1 強化する	2 維持する	3 縮小する
	説明				

## 8. 構成事業の方向性（それぞれの事務事業における今後の最適手段を検証する）

1次評価	説明	市民が親しめ、安全安心で防災性の高い都市公園の整備を進める。協働の考え方のもと、市民とともに、公園の適正な維持管理・運営を行っていけるよう取り組みを進め、あわせて、環境緑化の意識向上を図るものとする。また、都市公園について、憩いの場、スポーツ、レクリエーションの場として、また、観光、文化の場としての活用も目指していく。
2次評価	説明	

9. 施策を構成するそれぞれの事務事業の評価

※下記評価の解説

- ・貢献度－事務事業評価の結果をもとに、この施策での貢献度(重要度)を絶対評価で示しています。  
(a: 不可欠かつ施策の中核をなす事業、b: 不可欠な事業、c: 不可欠ではないが実施が望ましい事業、d: あまり有効ではない事業)
- ・方向性－事務事業評価の結果をもとに、この施策からみた各事務事業の今後の方向性を絶対評価で示しています。  
(拡大する、見直しながらかつ続ける、縮小する、廃止又は休止する、完了する)
- ・優先度(ソフト事業(任意)のみ)－施策内での事務事業の優先度を相対評価で示しています。  
(優先度が高い順に A、B、C、D)

この施策に関連する事務事業評価の内容(評価内容の転記)				施策評価		
NO.	課名、事務事業名及び事業種別	事業の内容	事業の方向性及びH25決算額	貢献度	方向性	優先度(ソフト任意)
1	千塚周辺整備課	H25年度は、(仮称)健康づくり・学習・交流拠点施設の実施設計、立体横断歩道橋及び集客施設の実施設計、北群公園の整備工事、県道戸毛久米線改良工事、千輪荘撤去工事、南群基盤整備工事、調整池整備工事、用地買収を実施。 有識者、地元代表者等からなる檀原市新沢千塚古墳群公園施設運営検討協議会を立ち上げ、各専門部会で案を検討し、協議会で意見集約し、公園づくりに反映させる。	1 継続する	b	継続する	
	新沢千塚古墳群公園整備事業 (ハード)		492,793 (千円)			
2	文化・スポーツ課	草刈り、樹木剪定業務、遊具の点検・修理、池及び噴水の管理を実施する。	2 現状のまま継続	b	見直しながらかつ続ける	
	東竹田近隣公園管理運営事業 (内部管理・維持管理)		2,853 (千円)			
3	都市整備課	指定管理者制度を導入し、民間の運営ノウハウによる運営・サービス向上及び自主事業を実施することでスポーツの振興等を図る。	2 現状のまま継続	b	見直しながらかつ続ける	
	檀原運動公園管理運営事業 (ソフト(義務))		64,683 (千円)			
4	都市整備課	広域避難地としての防災機能の強化や、市民の多様なニーズに沿った特色ある公園整備を推進するとともに、住民が緑ある景観を楽しみながら愛着をもって気軽に利用できるよう公園整備を実施する。 都市計画決定面積 29.4ha 主な施設 総合プール・硬式野球場・軟式野球場・ソフトボール場・テニスコート・サッカー場・多目的グラウンド・せせらぎ・散策路・屋根付運動場・防災備蓄倉庫・バラ園・調整池など	4 完了する	b	完了する	
	檀原運動公園整備事業 (ハード)		114,807 (千円)			
5	都市整備課	飛鳥川堤桜並木の下草刈、清掃等による桜維持管理業務を桜愛護会(7自治会)と委託契約により実施する。また、檀原神宮参道沿いの植栽剪定や、草刈り等の取り組みを行う参道の森環境美化協議会に交付金を交付し活動を支援する。	3 縮小する	b	見直しながらかつ続ける	C
	環境保全事業 (ソフト(任意))		2,520 (千円)			
6	都市整備課	点検調査で、改善が必要となった遊具等の公園施設を、安全・安心対策緊急総合支援事業によって順次、改築・更新を実施し、公園施設の長寿命化を図る。また、市内公園を対象として、公園施設の健全度判定調査などを実施することで公園施設長寿命化計画を策定し、今後進展する老朽化に対する安全対策の強化及び改築・更新費用の平準化を図り、適切な施設点検、維持補修等の予防保全的管理を行う。	1 継続する	b	継続する	
	公園施設長寿命化事業 (ハード)		145,591 (千円)			
7	都市整備課	市内238ある公園・緑地等の草刈り、樹木剪定業務、遊具の点検、修理等を実施する。また、地元自治会と公園管理協定を締結することで、日常の簡易な清掃・草引き等を地元自治会等で取り組んでいただき、市民と協働して公園の維持管理を行う。	2 現状のまま継続	b	見直しながらかつ続ける	
	児童公園管理事業 (ソフト(義務))		61,467 (千円)			
8	都市整備課	甘樫丘から西へ派生する丘陵の先端南斜面にあり、地形を活かした公園整備を実施する。 公園面積2.5haに主な施設として、芝生広場、散策広場、石の遊び場、墳丘、多目的広場等の整備を、文化財課事業と併せて行っていく。 H25年度末時点では5,845㎡を供用開始している。	1 継続する	b	継続する	
	植山古墳公園整備事業 (ハード)		1,302 (千円)			

この施策に関連する事務事業評価の内容(評価内容の転記)				施策評価		
NO.	課名、事務事業名 及び事業種別	事業の内容	事業の方向性及び H25決算額	貢献 度	方向性	優先度 (ソフト任意)
9	都市整備課	地域における緑化活動の助言や支援を行い、公共的な場所で緑や花を楽しめるよう取り組む。緑化樹養成所において、苗木の育成及び、植栽管理を行い、希望する市民や団体に苗木の配布を実施する。	2 現状のまま継続	b	見直しな がら続け る	B
	緑化推進啓発事業 ( ソフト(任意) )		325 (千円)			

事務事業評価表(平成25年度実施事業対象)

(作成日:平成26年 月 日)

事業の種類を選択してください。⇒ ( ハード ) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	新沢千塚古墳群公園整備事業								
	担当部名	総合政策部	担当課名	千塚周辺整備課	課長名	吉川 正巳				
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち						
		施策	7	緑豊かな憩いの場の整備						
	予算事業名	新沢千塚古墳群公園整備費								
	事業の開始年度	平成	25	年度	事業の終了予定年度	平成	28	年度		
	対象	H25年度は、(仮称)健康づくり・学習・交流拠点施設の実施設計、立体横断歩道橋及び集客施設の実施設計、北群公園の整備工事、県道戸毛久米線改良工事、千輪荘撤去工事、南群基盤整備工事、調整池整備工事、用地買収を実施。 有識者、地元代表者等からなる檀原市新沢千塚古墳群公園施設運営検討協議会を立ち上げ、各専門部会で案を検討し、協議会で意見集約し、公園づくりに反映させる。								
	事業の目的							市民の健康増進、交流促進、環境意識の向上や観光振興に寄与するため、新沢千塚古墳群公園の公園整備や周辺施設を整備する。本年度は健康づくり・学習・交流の機能を備えた施設建設に向けた基本設計、公園整備の実施設計を目的とした。		
	妥当性 評価	なぜ市が 関与して いるのか	1 公共性や収益性の観点から、市が直接的・包括的に関与すべき事業 2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)							
			説明							
市の関与の 必要性を評 価してくだ さい	やめた 場合の 影響は	1 非常に大きい		2 やや大きい		3 克服できる範囲内		4 ほとんど無い		
		説明								
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等		24年度	25年度		26年度	27年度	29(総計 目標) 年度	
				実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み	
	成果指標									
	活動指標 ①									
	活動指標 ②									
	コストの 推移  (単位: 千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算		
		歳出(直接事業費)(a)			222,249	475,714	492,793	784,752		
		歳入 (b)	受益者負担額							
			国県補助金等その他			141,782	430,221	207,149		677,400
		(a) - (b) = 一般財源			80,467	45,493	285,644	107,352		
		正職員	従事者数(単位:人)			5.00	5.00	5.00		6.00
			人件費(c)			31,015	30,860	30,860		37,032
		トータルコスト(a)+(c)			253,264	506,574	523,653	821,784		
	単位当 りコスト	計算式等 ( )/( )								
	備考 (これまでの 実績等)									

CHECK	進捗状況	目標(計画)どおり進んでいるか	1	1 予定通り	2 概ね予定通り	3 達成できていない	
			説明	北群公園整備、南群公園設計は繰越事業となっている。それぞれ5月末、7月末に完了見込みである。			
評価	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか		1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	<b>効率性評価</b>			現時点で効率性が非常に高く、これ以上の改善は見込めない	概ね高い効率性が発揮されているが、さらに向上できる余地はある	効率性がやや低く、見直しによる改善が期待される	現時点では効率性が低く、大幅な改善が必要
	内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		説明				
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。						
	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	1	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	課内優先度	
修正行動		説明	4 完了する	今後も公園整備の方向性を榎原市新沢千塚古墳群公園施設運営検討協議会にかけながら、平成28年度以内での新沢千塚古墳群公園整備の完成を目指す。社会資本整備総合交付金の動向を見ながら、年度内市負担額を鑑みて事業を進めていく。			

事務事業評価表(平成25年度実施事業対象)

(作成日:平成26年6月6日)

事業の種類を選択してください。⇒ ( 内部管理・維持管理 ) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	東竹田近隣公園管理運営事業									
	担当部名	市民文化部	担当課名	文化・スポーツ課	課長名	藤井 寛					
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち							
		施策	7	緑豊かな憩いの場の整備							
	予算事業名	東竹田近隣公園管理運営費									
	事業の開始年度	平成	22	年度	事業の終了予定年度	平成	年度				
	対象	公園利用者			事業の 内容説明	草刈り、樹木剪定業務、遊具の点検・修理、池及び噴水の管理を実施する。					
	事業の 目的	誰もが安心して遊べる公園、また災害時の避難場所としての役割を持つ公園を、地域コミュニティの場として機能させる。									
	妥当性 評価	なぜ市が 関与して いるのか	1 公共性や収益性の観点から、市が直接的・包括的に関与すべき事業								
			2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)								
市の関与の 必要性を評 価してくだ さい	やめた 場合の 影響は	説明									
		1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い						
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等			24年度	25年度		26年度	27年度	29(総計 目標) 年度	
					実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み	
	成果指標										
	活動指標 ①										
	活動指標 ②										
D O 実 施	コストの 推移  (単位: 千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算			
		歳出(直接事業費)(a)			3,063	2,839	2,853	3,727			
		歳入 (b)	受益者負担額								
			国県補助金等その他								
		(a) - (b) = 一般財源			3,063	2,839	2,853	3,727			
		正職員	従事者数(単位:人)			1.00	0.55	0.55			0.55
			人件費(c)			6,203	3,395	3,395			3,395
		トータルコスト(a)+(c)			9,266	6,234	6,248	7,122			
単位当 りコスト	計算式等 ( )/( )										
備考 (これまでの 実績等)											

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	効率的でバランスの取れた管理によって、住民ニーズへ効果的に対応している。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	2	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	市民にとって身近な憩いの場として機能している。							
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		1	現時点で効率性が非常に高く、これ以上の改善は見込めない	概ね高い効率性が発揮されているが、さらに向上できる余地はある	効率性がやや低く、見直しによる改善が期待される	4 現時点では効率性が低く、大幅な改善が必要			
			説明	競争性のある入札等により必要な業務のみを実施しており、改善の余地は少ない。						
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		管理手法の手順を整理し体系化を図り、より効率的な管理体制を構築することにより、増加していく維持管理費を縮小する。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する			課内優先度	
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する						
		説明	長期的な公園管理計画を立てることにより、費用の増加を縮小する。							



事務事業評価表(平成25年度実施事業対象)

(作成日:平成26年5月28日)

事業の種類を選択してください。⇒ ( ソフト(義務) ) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	檀原運動公園管理運営事業								
	担当部名	まちづくり部		担当課名	都市整備課	課長名	辰巳 豪			
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち						
		施策	7	緑豊かな憩いの場の整備						
	予算事業名	運動公園管理運営費								
	事業の開始年度	平成	—	年度	事業の終了予定年度	平成	—	年度		
	対象	公園利用者(市民及びスポーツ施設利用者・レジャー客等)		事業の 内容説明	指定管理者制度を導入し、民間の運営ノウハウによる運営・サービス向上及び自主事業を実施することでスポーツの振興等を図る。					
	事業の 目的	檀原市における唯一の総合公園として、市民の日常的スポーツ施設とレクリエーション施設を管理運営し、市民活動の場を提供する。								
	妥当性 評価	なぜ市が 関与して いるのか	1 公共性や収益性の観点から、市が直接的・包括的に関与すべき事業							
			2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)							
市の関与の 必要性を評 価してくだ さい	やめた 場合の 影響は	説明								
		1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い					
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等			24年度	25年度		26年度	27年度	29(総計 目標) 年度
					実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み
	成果指標	—			—	—	—	—	—	—
	活動指標 ①	—			—	—	—	—	—	—
	活動指標 ②	—			—	—	—	—	—	—
	コストの 推移  (単位: 千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算		
		歳出(直接事業費)(a)			63,890	65,216	64,683	48,627		
		歳入 (b)	受益者負担額							
			国県補助金等その他							
		(a) - (b) = 一般財源			63,890	65,216	64,683	48,627		
正職員		従事者数(単位:人)		1.00	0.90	0.90	0.95			
		人件費(c)		6,203	5,555	5,555	5,863			
トータルコスト(a)+(c)			70,093	70,771	70,238	54,490				
単位当 りコスト	計算式等 ( )/( )									
備考 (これまでの 実績等)										

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要		
		説明	指定管理者制度導入により、多様な市民のニーズに応え、コスト削減に向けた経営が行われている。						
評価	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い		
		説明	橿原市唯一の総合公園としての役割は大きい。						
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		2	現時点で効率性が非常に高く、これ以上の改善は見込めない	概ね高い効率性が発揮されているが、さらに向上できる余地はある	効率性がやや低く、見直しによる改善が期待される	4 現時点では効率性が低く、大幅な改善が必要		
		説明	指定管理者制度の導入効果により、利用促進、維持管理整備の充実がはかられ、効率的なサービス提供が期待できる。						
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		指定管理者による公園運営管理の経営ノウハウの向上により、効率的な運営が財政効果をもたらすことが期待できる。						
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する			課内優先度
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する					
		説明	運動公園のさらなる充実を目指し、創意工夫を凝らした管理運営を行う。						

事務事業評価表(平成25年度実施事業対象)

(作成日:平成26年5月28日)

事業の種類を選択してください。⇒ ( **ハード** ) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	檀原運動公園整備事業									
	担当部名	まちづくり部		担当課名	都市整備課	課長名	辰巳 豪				
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち							
		施策	7	緑豊かな憩いの場の整備							
	予算事業名	都市公園事業費									
	事業の開始年度	昭和	52	年度	事業の終了予定年度	平成	25	年度			
	対象	檀原市における唯一の総合公園として、市民の日常的スポーツ施設とレクリエーション施設を有する公園として整備し、また、広域避難地としての防災機能を持つ総合公園として整備を実施する。									
	事業の目的										
	事業の内容説明 (全体計画)	広域避難地としての防災機能の強化や、市民の多様なニーズに沿った特色ある公園整備を推進するとともに、住民が緑ある景観を楽しみながら愛着をもって気軽に利用できるよう公園整備を実施する。 都市計画決定面積 29.4ha 主な施設 総合プール・硬式野球場・軟式野球場・ソフトボール場・テニスコート・サッカー場・多目的グラウンド・せせらぎ・散策路・屋根付運動場・防災備蓄倉庫・バラ園・調整池など									
	妥当性 評価	なぜ市が 関与して いるのか	1 公共性や収益性の観点から、市が直接的・包括的に関与すべき事業								
2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)											
市の関与の 必要性を評 価してくだ さい	やめた 場合の 影響は	説明									
			1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い					
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等		24年度	25年度		26年度	27年度	29(総計 目標) 年度		
	成果指標			実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み		
	活動指標 ①	檀原運動公園 整備進捗面積(ha)		28.5	29.4	29.4	29.4	29.4	29.4		
	活動指標 ②	檀原運動公園 用地買収進捗面積(ha)		29.3	29.4	29.4	29.4	29.4	29.4		
	コストの 推移  (単位: 千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算			
		歳出(直接事業費)(a)			42,428	3,042	114,807	3,747			
		歳入 (b)	受益者負担額								
			国県補助金等その他			18,996	0	54,193			0
		(a) - (b) = 一般財源			23,432	3,042	60,614	3,747			
		正職員	従事者数(単位:人)			1.30	1.25	1.25			0.60
人件費(c)			8,064	7,715	7,715	3,703					
トータルコスト(a)+(c)			50,492	10,757	122,522	7,450					
単位当 りコスト	計算式等 ( )/( )										
備考 (これまでの 実績等)											

CHECK	進捗状況	目標(計画)どおり進んでいるか	1	1 予定通り	2 概ね予定通り	3 達成できていない	
			説明	昨年度は、広域避難地としての防災機能を強化するための耐震性貯水槽の設置及び修景池の整備を行い、未供用エリアを全域供用開始したことで、H25年度までの事業認可期間中の整備は完了した。			
評価	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか		1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	<b>効率性評価</b>			現時点で効率性が非常に高く、これ以上の改善は見込めない	概ね高い効率性が発揮されているが、さらに向上できる余地はある	効率性がやや低く、見直しによる改善が期待される	現時点では効率性が低く、大幅な改善が必要
	内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		説明				
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。						
	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	4	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	課内優先度	
修正行動		説明	4 完了する	事業認可期間が終了し、国庫補助を受けての事業は完了した。今後は、多様化する市民のニーズを把握し、整備方針を施設の更新にシフトしてより親しみのある、安全・安心な公園を目指していく。			

事務事業評価表(平成25年度実施事業対象)

(作成日:平成26年5月28日)

事業の種類を選択してください。⇒ ( ソフト(任意) ) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	環境保全事業									
	担当部名	まちづくり部		担当課名	都市整備課	課長名	辰巳 豪				
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち							
		施策	7	緑豊かな憩いの場の整備							
	予算事業名	緑化推進事業費									
	事業の開始年度	平成	—	年度	事業の終了予定年度	平成	—	年度			
	対象	飛鳥川堤桜並木、榎原神宮参道の森の景観を楽しむ人									
	事業の 目的	飛鳥川堤桜並木、榎原神宮参道の森の環境保全を図る。		事業の 内容説明	飛鳥川堤桜並木の下草刈、清掃等による桜維持管理業務を桜愛護会(7自治会)と委託契約により実施する。また、榎原神宮参道沿いの植栽剪定や、草刈り等の取り組みを行う参道の森環境美化協議会に交付金を交付し活動を支援する。						
	市の関与の 必要性を評 価してくだ さい	なぜ市が 関与して いるのか	2	1 公共性や収益性の観点から、市が直接的・包括的に関与すべき事業 2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)							
		やめた 場合の 影響は	2	1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い				
	説明	観光立市として、「道百選」にも選ばれた市が誇れるシンボルロード榎原神宮参道、また、万葉集にも詠まれた飛鳥川の環境保全に取り組むことでもたらされるイメージ効果は多大である。									
	説明	飛鳥川の桜並木、榎原神宮参道の良好な景観維持が困難になる。									
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等			24年度	25年度		26年度	27年度	29(総計 目標) 年度	
					実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み	
	成果指標	—			—	—	—	—	—	—	
	活動指標 ①	桜愛護会役員会出席回数			1	1	1	1	—	—	
	活動指標 ②	参道の森環境美化協議会総会出席回数			1	1	1	1	1	1	
	コストの 推移  (単位: 千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算			
		歳出(直接事業費)(a)			2,520	2,520	2,520	3,120			
		歳入 (b)	受益者負担額								
			国県補助金等その他								
		(a) - (b) = 一般財源			2,520	2,520	2,520	3,120			
正職員		従事者数(単位:人)			0.50	0.40	0.40	0.40			
		人件費(c)			3,102	2,469	2,469	2,469			
トータルコスト(a)+(c)			5,622	4,989	4,989	5,589					
単位当 りコスト	計算式等 ( )/( )										
備考 (これまでの 実績等)											

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要		
		説明	檜原市内において有数の観光スポットとして定着している。						
評価	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	2	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い		
		説明	自然と歴史を守り育むシンボリックな取り組みと評価できる。						
評価	効率性評価	内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください	2	現時点で効率性が非常に高く、これ以上の改善は見込めない	概ね高い効率性が発揮されているが、さらに向上できる余地はある	効率性がやや低く、見直しによる改善が期待される	4 現時点では効率性が低く、大幅な改善が必要		
			説明	年間の清掃等維持管理回数を必要最小限度にて算定している為、コスト低減は困難である。					
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		市民等のボランティア精神によって、活動が維持されてきているが、取り組みの輪が広がるような行政の支援によって、活動が豊富になることが期待される。						
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	3	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内優先度		B
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する	環境保全活動の効果的な展開を研究しつつ、事業を継続して取り組む。 飛鳥川堤桜並木の下草刈、清掃等による桜維持管理業務を、桜愛護会(7自治会)との委託契約からシルバー人材センターへの委託へ変更し、安全で効率的な管理体制を目指す。				

事務事業評価表(平成25年度実施事業対象)

(作成日:平成26年5月28日)

事業の種類を選択してください。⇒ ( **ハード** ) 事業

PLAN 計画	事務事業名	公園施設長寿命化事業						
	担当部名	まちづくり部	担当課名	都市整備課	課長名	辰巳 豪		
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち				
		施策	7	緑豊かな憩いの場の整備				
	予算事業名	都市公園事業費						
	事業の開始年度	平成	20	年度	事業の終了予定年度	平成	—	年度
対象	事業の内容説明(全体計画) 点検調査で、改善が必要となった遊具等の公園施設を、安全・安心対策緊急総合支援事業によって順次、改築・更新を実施し、公園施設の長寿命化を図る。また、市内公園を対象として、公園施設の健全度判定調査などを実施することで公園施設長寿命化計画を策定し、今後進展する老朽化に対する安全対策の強化及び改築・更新費用の平準化を図り、適切な施設点検、維持補修等の予防保全的管理を行う。							
事業の目的							市内公園内の施設の長寿命化に向けて、公園施設の整備を進める。また、魅力的かつ安全で安心な公園整備を進めることにより、地域住民が交流を深める場としてのまちづくりを推進するために、市内公園施設の長寿命化を図る。	
妥当性 評価	なぜ市が 関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が直接的・包括的に関与すべき事業						
		2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)						
市の関与の 必要性を評 価してくだ さい	やめた 場合の 影響は	説明						
			1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い		
DO 実施	指標の 推移	名称及び単位等	24年度	25年度		26年度	27年度	29(総計 目標) 年度
	成果指標		実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み
	活動指標 ①	公園回収面積(ha)	1.92	6.90	4.73	6.90	6.90	6.90
	活動指標 ②							
コストの 推移 (単位: 千円)	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算	(斜線表示)	
	歳出(直接事業費)(a)		60,780	20,392	145,591	117,097		
	歳入 (b)	受益者負担額						
		国県補助金等その他	30,203	0	62,875	50,000		
	(a) - (b) = 一般財源		30,577	20,392	82,716	67,097		
	正職員	従事者数(単位:人)	1.00	1.25	1.25	2.05		
		人件費(c)	6,203	7,715	7,715	12,653		
	トータルコスト(a)+(c)		66,983	28,107	153,306	129,750		
単位当 りコスト	計算式等 ( )/( )							
備考 (これまでの 実績等)								

CHECK	進捗状況	目標(計画)どおり進んでいるか	2	1 予定通り	2 概ね予定通り	3 達成できていない	
			説明	H25年度においては市内公園施設の更新と並行して公園施設長寿命化計画を市内35箇所公園で策定した。事業の進捗に関しては概ね予定通りである。			
評価	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか		1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	<b>効率性評価</b>			現時点で効率性が非常に高く、これ以上の改善は見込めない	概ね高い効率性が発揮されているが、さらに向上できる余地はある	効率性がやや低く、見直しによる改善が期待される	現時点では効率性が低く、大幅な改善が必要
	内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		説明				
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。						
	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	1	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	課内優先度	
修正行動		説明	4 完了する	策定された公園施設長寿命化計画に基づき、H26年度以降についても毎年度10箇所を目標として事業を実施し、公園施設の機能保全や安全性確保に支障となる劣化・損傷を未然に防止する。			



事務事業評価表(平成25年度実施事業対象)

(作成日:平成26年5月28日)

事業の種類を選択してください。⇒ ( ソフト(義務) ) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	児童公園管理事業										
	担当部名	まちづくり部	担当課名	都市整備課	課長名	辰巳 豪						
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち								
		施策	7	緑豊かな憩いの場の整備								
	予算事業名	児童公園管理費										
	事業の開始年度	平成		年度	事業の終了予定年度	平成	年度					
	対象	公園利用者			事業の 内容説明	市内238ある公園・緑地等の草刈り、樹木剪定業務、遊具の点検、修理等を実施する。また、地元自治会と公園管理協定を締結することで、日常の簡易な清掃・草引き等を地元自治会等で取り組んでいただき、市民と協働して公園の維持管理を行う。						
	事業の 目的	誰もが安心して遊べる公園、また災害時の避難場所としての役割を持つ公園を、地域コミュニティの場として機能させる。										
	妥当性 評価	なぜ市が 関与して いるのか	1 公共性や収益性の観点から、市が直接的・包括的に関与すべき事業									
			2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)									
市の関与の 必要性を評 価してくだ さい	やめた 場合の 影響は	説明										
			1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い						
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等			24年度	25年度		26年度	27年度	29(総計 目標) 年度		
					実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み		
	成果指標											
	活動指標 ①	公園管理協定締結公園数			163	166	163	163	166	180		
	活動指標 ②											
	コストの 推移  (単位: 千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算				
		歳出(直接事業費)(a)			65,998	64,365	61,467	65,254				
		歳入 (b)	受益者負担額									
			国県補助金等その他			851	1,635	1,824	1,524			
		(a) - (b) = 一般財源			65,147	62,730	59,643	63,730				
正職員		従事者数(単位:人)			3.80	3.50	3.50	3.05				
		人件費(c)			23,571	21,602	21,602	18,825				
トータルコスト(a)+(c)			89,569	85,967	83,069	84,079						
単位当 りコスト	計算式等 ( )/( )											
備考 (これまでの 実績等)												

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	効率的でバランスの取れた管理によって、住民ニーズへ効果的に対応している。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	2	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	市民にとって身近な憩いの場として機能している。							
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		1	現時点で効率性が非常に高く、これ以上の改善は見込めない	概ね高い効率性が発揮されているが、さらに向上できる余地はある	効率性がやや低く、見直しによる改善が期待される	4 現時点では効率性が低く、大幅な改善が必要			
		説明	開発公園等の新設などにより、公園数は増加していることから、維持管理コストの低減は困難である。							
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		管理手法の手順を整理し、体系化をはかることにより、効率的な管理体制が構築され、安全安心な公園を維持できる。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内優先度			
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する	長期的な公園管理を計画立てることを念頭に、公園が住民に広く親しまれるよう、自治会、ボランティア団体、NPO法人等との協働による管理体制を推進し、側面的あるいは補完的の支援に取り組む。					

事務事業評価表(平成25年度実施事業対象)

(作成日:平成26年5月28日)

事業の種類を選択してください。⇒ ( **ハード** ) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	植山古墳公園整備事業								
	担当部名	まちづくり部	担当課名	都市整備課	課長名	辰巳 豪				
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち						
		施策	7	緑豊かな憩いの場の整備						
	予算事業名	都市公園事業費								
	事業の開始年度	平成	15	年度	事業の終了予定年度	平成	29	年度		
対象										
事業の 目的	本公園は、地域住民が日常的に利用できる公園整備を行うと同時に、植山古墳の持つ学術的・文化的価値を修復・復元整備することで、観光客誘致も視野に入れた近隣公園として整備する。		事業の 内容説明 (全体計画)	甘樫丘から西へ派生する丘陵の先端南斜面にあり、地形を活かした公園整備を実施する。 公園面積2.5haに主な施設として、芝生広場、散策広場、石の遊び場、墳丘、多目的広場等の整備を、文化財課事業と併せて行っていく。 H25年度末時点では5,845㎡を供用開始している。						
妥当性 評価	なぜ市が 関与して いるのか	1 公共性や収益性の観点から、市が直接的・包括的に関与すべき事業								
		2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)								
市の関与の 必要性を評 価してくだ さい	やめた 場合の 影響は	説明								
			1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い				
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等		24年度	25年度		26年度	27年度	29(総計 目標) 年度	
	成果指標			実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み	
	活動指標 ①	植山古墳公園 進歩面積(ha)		0.81	1.06	0.81	1.06	2.00	2.50	
	活動指標 ②	植山古墳公園 用地買収進歩面積		10,974	10,974	10,974	10,974	10,974	10,974	
	コストの 推移  (単位: 千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算		
		歳出(直接事業費)(a)			75,623	59,292	1,302	31,324		
		歳入 (b)	受益者負担額							
			国県補助金等その他		24,783	29,000	0	15,000		
		(a) - (b) = 一般財源			50,840	30,292	1,302	16,324		
		正職員	従事者数(単位:人)		0.35	0.30	0.30	1.10		
			人件費(c)		2,171	1,852	1,852	6,789		
	トータルコスト(a)+(c)			77,794	61,144	3,154	38,113			
	単位当 りコスト	計算式等 ( )/( )								
	備考 (これまでの 実績等)									

CHECK	進捗状況	目標(計画)どおり進んでいるか	3	1 予定通り	2 概ね予定通り	3 達成できていない			
			説明	H25年度においては、古墳周辺整備に係る実施設計を重点的に進め、文化財課との調整会議を密に行ない今後の事業の方向性を計画した。 H26年度は未供用エリア西部分の園路及び広場の整備と、古墳南部分の整備を進めていく予定である。					
評価	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか		1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い		
	<b>効率性評価</b>			現時点で効率性が非常に高く、これ以上の改善は見込めない	概ね高い効率性が発揮されているが、さらに向上できる余地はある	効率性がやや低く、見直しによる改善が期待される	4 現時点では効率性が低く、大幅な改善が必要		
	内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		説明						
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。								
	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	1	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	課内優先度			
修正行動		説明	事業実施期間を延伸し、H29年度完了を目指し事業を進めていきたい。						

事務事業評価表(平成25年度実施事業対象)

(作成日:平成26年5月28日)

事業の種類を選択してください。⇒ ( ソフト(任意) ) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	緑化推進啓発事業								
	担当部名	まちづくり部		担当課名	都市整備課	課長名	辰巳 豪			
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち						
		施策	7	緑豊かな憩いの場の整備						
	予算事業名	緑化推進事業費								
	事業の開始年度	平成		年度	事業の終了予定年度	平成	年度			
	対象	緑化推進啓発事業								
	事業の 目的	市民に対し、緑化することの大切さをアピールし、個人や地域に自発的な緑化の取り組みを促し、環境保全、緑化推進を図る。			事業の 内容説明	地域における緑化活動の助言や支援を行い、公共的な場所で緑や花を楽しめるよう取り組む。緑化樹養成所において、苗木の育成及び、植栽管理を行い、希望する市民や団体に苗木の配布を実施する。				
	妥当性 評価	なぜ市が 関与して いるのか	1	1 公共性や収益性の観点から、市が直接的・包括的に関与すべき事業 2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)						
			説明	緑化の効果は、広く地域の環境にもたらされるため、公の立場でその啓発にあたるのが望ましいと考えられる。						
市の関与の 必要性を評 価してくだ さい		やめた 場合の 影響は	3	1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い			
		説明	緑豊かで低炭素なまちづくりの推進をはかる行政の姿勢が問われる懸念がある。							
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等			24年度	25年度	26年度	27年度	29(総計 目標) 年度	
					実績	計画	実績	見込み	見込み	
	成果指標									
	活動指標 ①	花苗、苗木、種子等配布団体数			-	8	3	5	10	16
	活動指標 ②									
	コストの 推移  (単位: 千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算		
		歳出(直接事業費)(a)			740	271	325	269		
		歳入 (b)	受益者負担額							
			国県補助金等その他			59				
		(a) - (b) = 一般財源			681	271	325	269		
正職員		従事者数(単位:人)			0.50	0.40	0.40	0.40		
		人件費(c)			3,102	2,469	2,469	2,469		
トータルコスト(a)+(c)			3,842	2,740	2,794	2,738				
単位当 たり コスト	計算式等 ( )/( )									
備考 (これまでの 実績等)										

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	3	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	地道な取り組みであるため、著しい成果の向上はない。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	3	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	緑化推進の啓発によって、意識の向上をうながし、やがて地域に緑化をもたらすことが目的であるが、高い貢献度は望めない。							
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		3	現時点で効率性が非常に高く、これ以上の改善は見込めない	概ね高い効率性が発揮されているが、さらに向上できる余地はある	効率性がやや低く、見直しによる改善が期待される	4 現時点では効率性が低く、大幅な改善が必要			
		説明	緑化樹養成所の維持管理のあり方について見直しをすることで、経費を削減する。							
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		緑化樹養成所内の樹木を、市内公園等公共の場の緑化推進事業のため移植することで、維持管理費用の削減効果が得られる。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内優先度		C	
説明			4 廃止又は休止する 5 完了する 地域における緑化活動に対し積極的に助言や支援を行い、公共的な場所で緑や花が楽しめるよう取り組み、地域と行政の協働による緑化推進をはかる。							